

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ILIS CLUB松原		
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが楽しんで通所できるように雰囲気作りに気をつけている。	お子さまの楽しいという気持ちを大切に、集団療育や個別療育等では職員も一緒に取り組んでいます。また来所した際に「おかえり」などと声をかけることを意識し、保育園や幼稚園の様子もお子さまからも聞くようにしています。	土日祝にはイベント等を検討していく。お子さま同士の関わりを増やし、お子さまからの提案も療育に反映していきたいと思ひます。
2	様々な活動を行っている。	毎月活動カレンダーを作成し、活動内容に偏りがないように気を付けている。また1日ごとに主となる職員が変わる為、色々な角度からのアプローチができる。	職員間で活動についての内容やアドバイスをする時間を作り、より良い支援を行えるように話し合いを大切にしている。
3	色々な年齢のお子さまと関わりを持つことができる。	未就学児から高校3年生の児童と一緒に過ごす事で助け合う気持ちを育んでもらい、また挑戦する気持ちを大切にもらえるように特性や状況を判断し、集団活動が行えるように意識している。	関係機関との連携し、地域との関わりを増やしていく。特性や状況、様子等を職員間で共有し合い、引き続き集団活動が行えるように意識していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	死角が多い。	怪我や事故が起きないように日々留意点等を職員で話しているが建物の構図上、柱などがあり全体を見渡すことが難しい。	職員配置を必ず話し合い、日々怪我や事故のないよう、どの位置からでもお子さまの様子が見られるように配置を考える。
2	保護者様に活動の様子を見ていただく機会や方法が少ない。	コロナウイルス流行後から親の会など、保護者様にお子さまの様子を写真や動画等で見ていただける機会が作れていない。おたより以外(ブログ・Instagram)で発信していることが保護者様に伝わっていない。	感染症に配慮しながら保護者様同士での情報提供や意見交換ができる場を設ける。またその場で活動の様子を知っていただけの物や保護者様にも体験していただける機会を作りたいと思ひます。ブログやInstagramでの発信を保護者様にお伝えし、おたより等以外での発信方法も検討する。
3	地域との関わりが少ない。	地域連携・関係機関連携が不足している。	地域との関わりを増やしていくためまずは関係機関との連携を増やしていく。そのためには児童発達支援管理責任者やマネージャーを中心に利用児童の通っている学校等に訪問し、お話をする機会を増やしていき、関係機関連携を確立していく。